



おおや



6月号 R8.6.1

学校教育目標「心豊かでたくましい子の育成」

発行責任者
校長 湯本 貴幸

上尾市立大谷小学校 上尾市大字大谷本郷 528 電話 048(781)0120

「聞く力」が育てる 豊かな学びと温かな関わり

梅雨入りを前に、木々の緑がいっそう鮮やかに感じられる季節となりました。日によっては暑さも増し、熱中症への配慮が必要な時期となっています。そんな中、子供たちは新しい学年や学級での生活にも少しずつ慣れ、落ち着いて学習や運動に取り組む姿が見られるようになってきました。先日は新体力テストを終え、今後は水泳指導も本格的に始まります。

さて、「言語活動の充実」が求められるようになってから、長い年月が経ちました。平成29年告示の学習指導要領における、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、その重要性がさらに高まっています。これは、単に「たくさん話す」「発表する」ということではなく、言葉を通して考え、伝え合い、学びを深めていく活動を大切にすることです。

そのために大切になるのが、「聞く力」です。先日の校長講話では、「聞き上手・話し上手」というテーマで子供たちに話をしました。

聞く力が身に付くと、ただ耳で聞くだけではなく、相手の話を最後まで受け止めながら、「どのような気持ちで話しているのだろう」「何を伝えたいのだろう」と、相手の思いや考えを想像できるようになります。

このように、相手を思いやりながら聞くことで、人との関わりはより温かいものになります。そして、「自分の話をしっかり聞いてもらえた」と感じることで、安心したり、嬉しくなったりするものです。

また、しっかり聞くことで内容への理解が深まり、「もっと知りたい」「それはどういうことだろう」と、さらに追究したい気持ちも生まれます。すると、一層集中して話を聞くことができるようになります。こうした経験を積み重ねることで、頭の中で言葉を整理しながら聞く力が育ち、話の流れや大切なポイントが、より鮮明に分かるようになっていきます。

さらに、「何が大切なのか」「どのような言葉を使えばよいのか」「どう伝えると分かりやすいのか」ということも、自然と理解できるようになります。つまり、「聞き上手」になることは、「話し上手」につながるのです。そのような話を、子供たちに伝えました。

学校でも、授業や友達との会話、委員会活動など、さまざまな場面で「聞く力」が求められます。相手の話を大切に聞く子供は、周りの人を大切にできる子供でもあります。

これからも学校では、「最後まで聞く」「相手の気持ちを考える」「目と耳と心で聞く(聴く)」ことを大切にしながら、子供たちの豊かなコミュニケーション力を育ててまいります。

ご家庭でも、ぜひお子さんの話に耳を傾けながら、「聞くことの大切さ」について話題にしていただければ幸いです。